

財政指標からみる財政状況

ID 1005122

項目	令和3年度	令和2年度	説明	
財政力指数(一般会計) ※()は単年度指数	0.943 (0.907)	0.965 (0.962)	地方自治体の財政力を判断する理論上の指数。3カ年の平均値で示し、単年度で指数が1を下回ると収入不足団体となり、国から交付税が交付される。日野市は平成22年度から交付団体	
経常収支比率(普通会計)	92.5%	100.1%	財政構造の硬直度を示すもので、数値が高いほど新たな住民ニーズに対応できる余地が少なくなる ※分母に臨時財政対策債などの借り入れを含まない	
人件費比率(普通会計)	14.5%	12.6%	歳出総額に占める人件費の割合を示す指標	
財政健全化法に基づく指標	実質赤字比率	－ (赤字なし)	－ (赤字なし)	一般会計と土地区画整理事業特別会計における赤字額の程度を示す指標(早期健全化基準：11.53%)
	連結実質赤字比率	－ (赤字なし)	－ (赤字なし)	上記二つの会計に、すべての特別会計(市立病院事業会計・下水道事業会計を含む)を加えた市全体としての赤字額の程度を示す指標(早期健全化基準：16.53%)
	実質公債費比率	-2.4%	-2.3%	上記全会計および一部事務組合などの実質的な借金などの年間返済額で、市が負担すべきと推計される額などの大きさを示す指標(早期健全化基準：25.0%)
	将来負担比率	13.8%	19.9%	将来にわたって市が負担していかなければならない上記全会計、一部事務組合や土地開発公社などの負債の残高(借金の残高)などの大きさを示す指標(早期健全化基準：350.0%)
	資金不足比率	－ (赤字なし)	－ (赤字なし)	公営企業会計(市立病院事業会計および下水道事業会計)における資金不足額(赤字の程度)を示した指標(経営健全化基準：20%)

令和4年度上半期財政状況

(令和4年9月30日現在)

令和4年度上半期(4月1日～9月30日)の収入および支出の概況などについてお知らせします。

■各会計別予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	
一般会計	791億1,190万円	376億799万円	329億1,566万円	
特別会計	国民健康保険	167億784万円	74億5,870万円	61億4,844万円
	土地区画整理事業	23億2,506万円	1億5,184万円	1億6,089万円
	介護保険	159億3,051万円	75億3,415万円	61億6,401万円
	後期高齢者医療	48億8,399万円	20億6,786万円	15億9,361万円
	市立病院事業(収入)	84億4,350万円	29億119万円	
	市立病院事業(支出)	90億5,712万円		31億8,100万円
	下水道事業(収入)	38億8,210万円	17億3,555万円	
	下水道事業(支出)	36億4,460万円		5億898万円

※市立病院事業会計と下水道事業会計は「資本金の収入および支出」を除く
※一般会計の予算現額には事故繰越・繰越明許費を含む。土地区画整理事業の予算現額には繰越明許費を含む

■基金・市有財産※

土地	173万㎡	
建物	36万㎡	
基金	公共施設建設基金	21億9,013万円
	職員退職手当基金	15億3,489万円
	財政調整基金	40億5,446万円
	環境緑化基金	5億4,361万円
	平和事業基金	9,753万円
	バリアフリー事業推進基金	7,569万円
	土地区画整理事業基金	7億4,935万円
	介護給付費準備基金	6億5,010万円
	市民体育施設整備基金	2億200万円
	学校施設整備基金	16億504万円
	減債基金	3億2,727万円
	新選組関連資料収集基金	2,142万円
	ごみ処理施設整備基金	6億6,140万円
	福祉あんしん基金	8,268万円
	病院整備基金	5,514万円
	新型コロナウイルス感染症対策基金	7万円
	合 計	128億5,078万円

※貸付基金を除く

■市債残高の状況

(単位：億円)

会計名	前年度末現残高	上半期元金償還額	9月末現在高
一般会計	351	9	342
病院事業会計	50	3	47
下水道事業会計	148	8	140
土地区画整理事業特別会計	11	0※	11
合 計	560	20	540

※償還額が1億円に満たないため、0億円表記になっています

経常収支比率について

～一時的に改善も、依然として厳しい状況

経常収支比率とは、経常的な収入(市税や地方交付税など)に対して、経常的な支出(人件費や公債費など)が占める割合を示したものです。

経常収支比率が100%を超えると、貯金の取り崩しや借金の借り入れを行わなければ、経常的な行政サービスの財源が確保できないこととなります。

令和3年度の経常収支比率は前年度と比べて7.6ポイント改善し、92.5%になりました。経常収支比率が改善した主な原因は、歳出では下水道事業会計の公営企業会計への移行に伴い経常としていた経費の一部を見直したこと、歳入においては新型コロナウイルス感染症の影響から普通交付税の追加交付があり、全体として歳出が減少する一方で歳入が増加したためです。しかし、この追加交付は極めて限定的なものであり、経常収支比率の改善は一過性のものと言えます。

令和3年度は一時的に数値は改善していますが、財政の状況は依然として厳しい状況にあります。今後も、少子高齢化に伴う扶助費や繰出金の継続的な増加や、施設の老朽化への対応を見込んでおり、既存事業の見直しや歳入確保の取り組みなど財源を生み出す努力を進めていきます。

（単位：％）※臨時財政対策債を含まない数値

6 広報ひの 令和4年11月号

令和4年度標語 **「もしかして？」 ためらわないで！ 189** いちはやく

11月は児童虐待防止推進月間

ID 1020348

☎子ども家庭支援センター(☎042-599-6670)、全国児童相談所共通ダイヤル(☎189※24時間対応。通話料無料)

令和2年、児童福祉法等改正により、法令上も体罰が明確に禁止されました。命に関わる暴力だけが虐待ではありません。しつけのつもりでも、体罰はすべて虐待に当たります。

市では、重篤・死亡事例を防ぐため、地域の皆さまにもご協力いただき、妊娠期そして軽微な段階からの早期発見・対応に努めています。

また、子どもの前での激しい夫婦げんかやDVは、心理的虐待に当たります。近年、これらの虐待が子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼすことが、さまざまな研究で明らかになりつつあります。

しつけではなく、虐待です

- 言うことを聞かないので、おしりを叩いた
- いたづらをしたので、長時間正座をさせた
- 宿題をしなかったので、夕食を与えなかった
- 何回言ってもゲームをやめないで、ベランダに出した

虐待を見聞きしたら ためらわずにご連絡(通告)ください

通告は子どもを守るだけではなく、困っている家庭を支援につなげることにもなります。周囲の子どもたちに関心を持ち、社会全体で子育て世代を見守り、応援しましょう。

年度	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	総計
平成29年度	100	50	10	5	165
平成30年度	120	60	15	10	245
令和元年度	130	70	20	15	290
令和2年度	180	90	30	20	378
令和3年度	320	100	40	71	731

一人でも多くの方が児童虐待について考え、児童虐待防止のための行動につなげていけるように、推進月間中はさまざまな啓発事業を実施します。

児童虐待防止オレンジリボン運動

- オレンジリボンは、児童虐待のない社会の実現を願う市民運動のシンボルです。
- 推進月間中は、市職員などがオレンジリボンを身に着けます。
- 市民の皆さまもぜひご着用ください。
- ☎子ども家庭支援センターなどで配布

パネル展示

- 日・場11月1日(火)～17日(木)(日曜日を除く)…市役所1階市民ホール、11月1日～30日(水)…七生支所展示スペース

▲パネル展示(子供への虐待とは)

啓発動画

- 市HPまたはYouTubeから視聴できます。

図書館テーマ展示

- 場中央図書館、多摩平図書館、百草図書館内児童虐待や子育てをテーマとした企画の展示

講演会

- 「地域力で子どもを虐待から守る」～野田市小4女児死亡事例から
- 日11月10日(木)午後2時～4時場ひの煉瓦ホール(市民会館) ☎鈴木秀洋氏(日本大学危機管理学部准教授) 対市内在住・在勤・在学者 定先着200人

鈴木秀洋氏▶

7 広報ひの 令和4年11月号